

スマートフォン「とても使いこなしている」人は 4.1% !

82.6%が何らかの SNS を利用、LINE は 76%

将来欲しいアプリの 3 大キーワードは「健康・お金・孤独」

「オレンジページ暮らし予報」では、国内在住の 20 歳以上の女性を対象に「デジタル端末とアプリ」について調査しました。使用中のデジタル端末の第1位はスマートフォンとなり、多くの人が通話以外に写真や通信機能を駆使して、SNS を利用。さらに、さまざまな用途のアプリをインストールし、暮らしに役立てている人も多いことがわかります。そして、今後ますます充実していくであろう「アプリ」について、将来どのようなものが欲しいか、という質問には、いずれ来る「老い」に対する不安があらわれた回答が多くみられました。

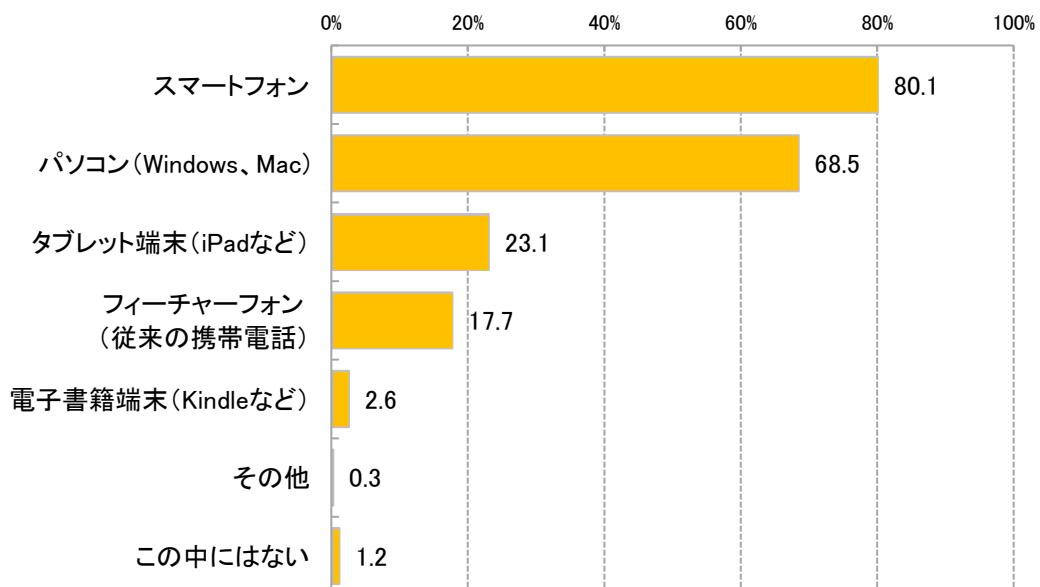
【ダイジェスト】

使用中のデジタル端末 1 位はスマートフォン 80.1%。「とても使いこなしている」のは 4.1%

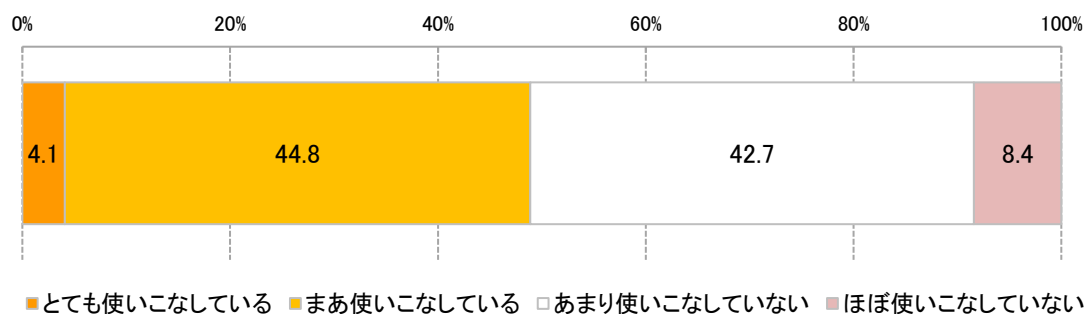
82.6%が何らかの SNS を利用、LINE は「1 日 3 回以上チェックする」が 71.3%

「将来欲しいアプリ」の 3 大キーワードは「健康・お金・孤独」。スマホは転ばぬ先の杖!?

[Q]あなたがお使いの携帯電話やデジタル端末を、全てお選びください。
(n=1009、複数回答)



[Q]ご自身のスマートフォンの使いこなしレベルはどれに当たりますか？
(スマートフォン利用者、n=808)



使用中のデジタル端末 1 位はスマートフォン 80.1%。「とでも使いこなしている」のは 4.1%

ふと気づくと、乗っている電車でほとんどの人がスマートフォンを見ていた、などという光景が普通となった今、「お使いの携帯電話やデジタル端末」を選んでもらう設問では「スマートフォン」80.1%、「パソコン」68.5%、「タブレット端末」23.1%という結果になりました。「フィーチャーフォン(従来の携帯電話)」の利用者は 17.7%にとどまっています。

「5 年前に比べて、あなたのスマートフォンの利用時間は変化しましたか？」では、「増えた」64.1%、「変わらない」31.4%、「減った」4.5%という結果が得られ、6 割以上の人利用時間が増えています。

さて、利用者が感じている「スマートフォンのメリット」は何でしょうか。

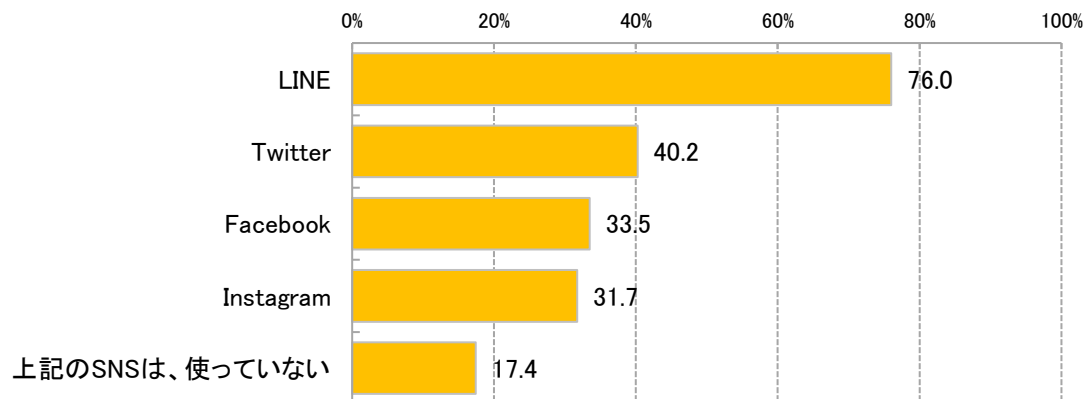
最多は「パソコンより手軽に起動して検索ができる」67.3%、次が「外出先で地図やお店などを見つけやすい」65.0%、そのあと「LINE や Facebook など連絡や近況報告がしやすい」59.4%、「新しい情報がすぐわかる」58.4%、「家族や友人らとコミュニケーションしやすい」57.9%と続きます。

「手軽に持ち運べて調べものもすぐでき、家族や友人とのコミュニケーションにも便利、ニュースも入ってくる」というメリット、そして「写真、動画がキレイに撮れる」が 49.9%で続き、「これ 1 台で何でもできる」という、ひと昔前には考えられないような魔法のアイテムが全世界を席卷している理由が、今回の調査結果にもあらわれているようです。

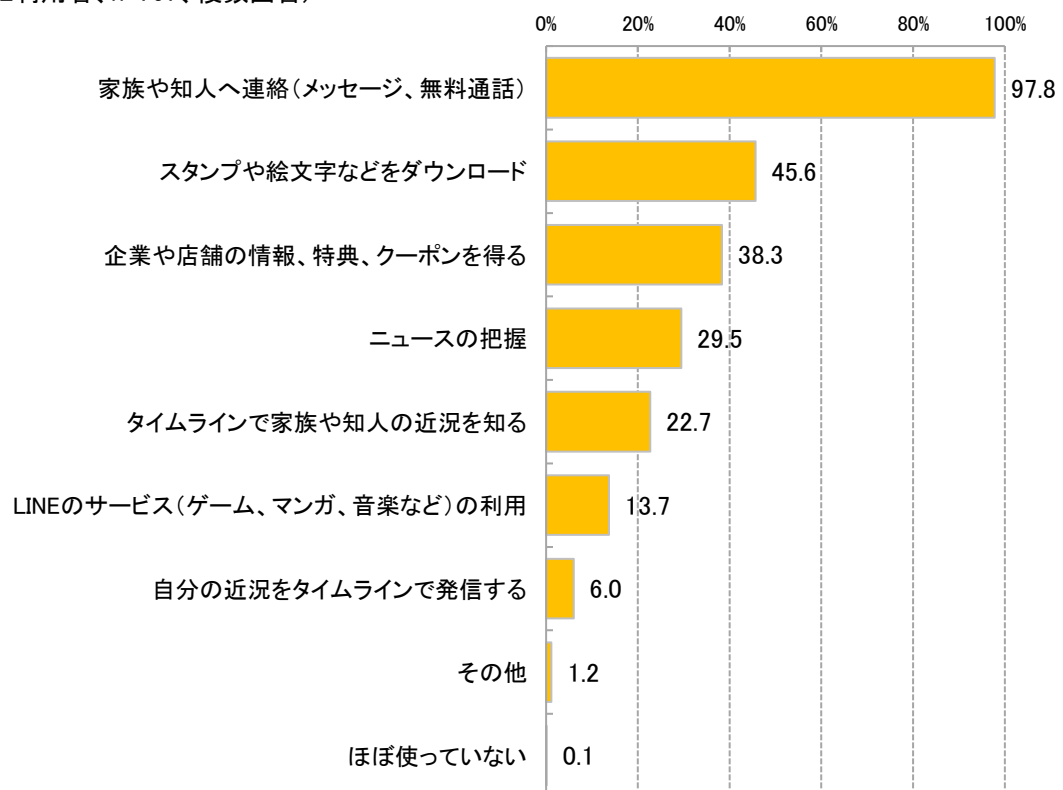
ただし「ご自身のスマートフォンの使いこなしレベルはどれに当たりますか？」という質問には「とでも使いこなしている」人はわずかに 4.1%、「まあ使いこなしている」44.8%と、「使いこなしている」という人の割合は利用者の 5 割を切ります。

「スマートフォンの使い方に困ったり、うまく操作できなかったことがある」人は 82.1%(よくある 22.2%+たまにある 59.9%)、そして、困ったときの対処法は「家族や周りにいる人に聞く、やってもらう」68.2%が最多、次は「Google、Yahoo!などで検索する」60.0%でした。さらに「スマートフォン内のアプリに設定した ID やパスワードがわからなくなって困ったことがある」人は 67.5%。最近ではパスワード管理のためのアプリや専用ノートも登場しています。

[Q]あなたは、以下のSNSをお使いですか？
(n=1009、複数回答)



[Q]LINEをどのようなことに使っていますか？
(LINE利用者、n=767、複数回答)



82.6%が何らかの SNS を利用、LINE は「1日3回以上チェックする」が71.3%

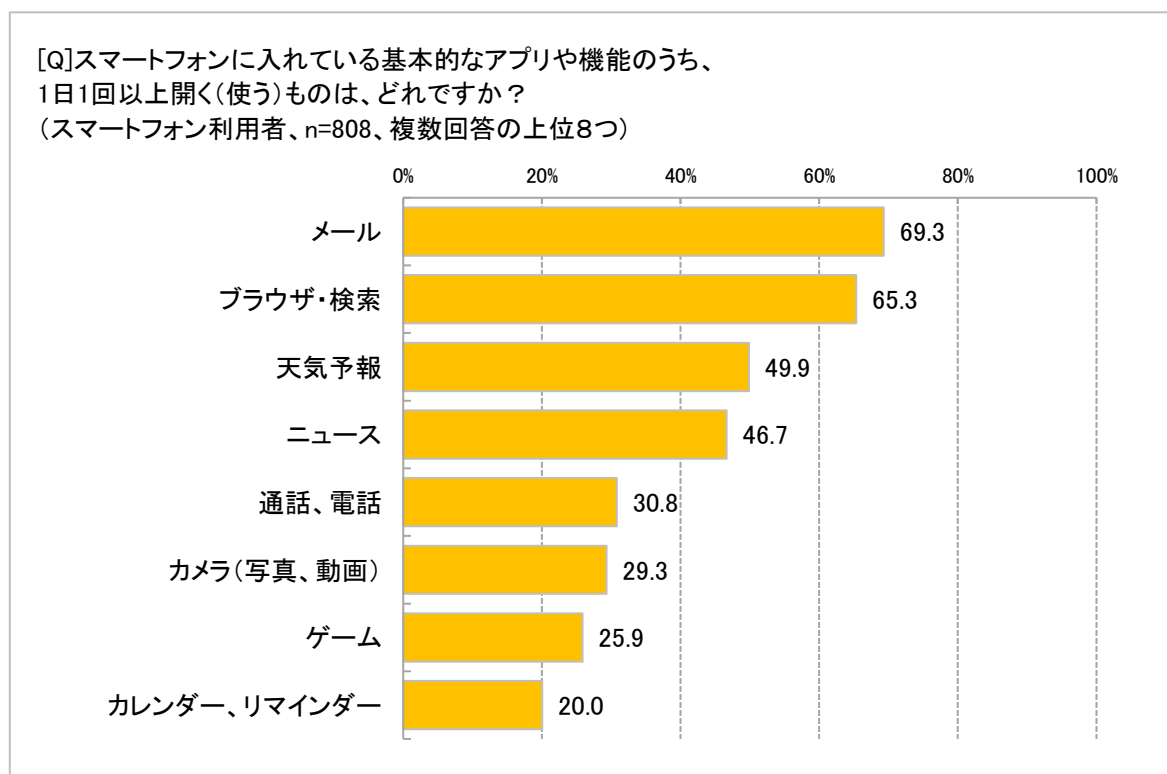
たとえ、スマートフォンをあまり使いこなせていなくとも、パスワードを忘れがちでも、友人や家族の状況を相互に通信できる SNS の利用者は大変多いことがわかります。

「LINE」76.0%、「Twitter」40.2%、「Facebook」33.5%、「Instagram」31.7%。「(左記4種の) SNS は使っていない」という人は17.4%にすぎません。

特に LINE は無料通話サービスがあることが大きな普及要因であることが考えられます。さらには、従来のメールやメッセージに比べて気軽に連絡ができ、文章ではもちろん、イラストやスタンプなどでも気持ちを伝えることが可能、写真もすぐ送れる、さらには友人同士や家族で LINE グループも作れる、などの使い勝手のよさも特徴です。

LINE という「近い人への気持ちの発信」から、さらに広い世界に向けて「私」を「発信」していくのが「Twitter」や「Facebook」、「Instagram」。

「自分が投稿した内容に“いいね”やコメントをされたことがありますか？」という問いで「いいねをもらったことがある」と答えた人(各 SNS のユーザーごと)は、「Twitter」が 58.9%、「Facebook」が 75.4%、「Instagram」が 69.7%でした。



「将来欲しいアプリ」の3大キーワードは「健康・お金・孤独」。スマホは転ばぬ先の杖!?

「スマートフォンに入れているアプリや機能のうち、1日1回以上開くものはどれですか？(SNSを除く)」という質問では「メール」69.3%、「ブラウザ・検索」65.3%、「天気予報」49.9%が上位3つです。また、自由回答で寄せられた健康系アプリの中には、日常のちょっとした不便さを解消するものもいくつもありました。

たとえば、女性ならではの体調管理系では、自分の生理日を登録しておく、次の生理予定日を予測してくれる「ルナルナ」。「生理予定を結構正確に教えてくれる」(30代・フルタイム)、「生理日が管理できるので」(50代・専業主婦)と、くらしの中でアプリが役立っている様子が見えます。

さらに、気圧予報で気象病・天気痛の対策ができる「頭痛一撃」。「頭が痛くなる時期を予測し、痛くなる前に頭痛薬もめめる」(30代・パート)、「体調管理がしやすい」(50代・専業主婦)などの回答が。このように、「あったらいいな」を叶えた、「ツボにはまる」アプリを賢く使いこなしている人の多さが目立ちました。

AIによる技術革新が進み、当然スマートフォンも、その中に入るアプリも進化し、さらにきめ細かい「あつ

たらしいな」に対応するものが出てくると予想されます。

「近い将来に欲しいアプリ」はどんなものなのかをたずねた自由回答からは、大きく分けて 3 つの傾向がみられました。

それは「健康」「お金」そして「孤独」。近い将来といえば、自分の老後に思いを至らせるのは当然のことでしょうが、そこには不安が隠せないようです。

「健康」では代表的な意見として、「食べたものの写真を撮るだけで、栄養管理をしてくれる」(30代・フルタイム)、「健康管理を一手にしてくれるようなもの。不足している栄養を教えてくれるとか、今日は歩いていないとか、脳トレゲーム搭載とか」(50代・専業主婦)など。

「お金」は、「スマホ節約アプリ。使わない機能を減らしてスマホ代を節約してくれる」(40代・フルタイム)、「資産管理アプリ。ファイナンシャルプランナーに相談しなくても管理できる」(40代・専業主婦)、「高齢者優待アプリ」(50代・パート)などなど。

そして「孤独」。「見守りアプリがあるなら活用したいです」(50代・パート)、「自分の死や病気によって必要な人と連絡がとれなかったときに自動で発信してくれるアプリ」(50代・フルタイム)、「励ましてくれる」(40代・専業主婦)、「話し相手になってくれる」(30代・フルタイム)、「子どものころの友人とつながれるアプリ」(30代・フルタイム)など、じつにさまざまな「不安の形」がイメージできる回答の多さが印象的です。

体と脳に加齢、便利に進化する世界を歓迎する反面、その進化に取り残されるのでは、という不安。近未来のスマートフォンは「転ばぬ先の杖」ならぬ、「転ばぬ先のスマホ」とでもいう存在になるのかもしれない。

アンケート概要

- 調査対象: オレンジページメンバーズ・国内在住の 20 歳以上の女性 (有効回答数 1009 人)
- 調査方法: インターネット調査
- 調査期間: 2019 年 7 月 13 日～17 日

●「オレンジページくらし予報」について

読者モニター「オレンジページメンバーズ」には、さまざまなくらし情報・くらし体験によってはぐくまれた“くらしの目利き”たちが数多く所属しています。そんなメンバーたちの声を集めてく次のくらし>を読み解いていくのが「オレンジページくらし予報」です。WEB 上でのアンケート調査、座談会など、ご相談に応じて展開いたします。

●『オレンジページ』について

失敗なくおいしく作れるレシピ情報が支持され、今年創刊 34 周年を迎えた生活情報誌。30～40 代の主婦を中心に幅広い読者層を誇ります。発行部数＝325,088 部(2018 年印刷証明付発行部数)。

この資料に関するお問い合わせ

株式会社オレンジページ

くらしデザイン部

kurashi@orangepage.co.jp Tel. 03-3436-8418